



足立史談会再開にあたって

会長 相川謹之助

足立史談会は令和7(2025)年4月、2年間のねむりからめざまして再開しました。継続をしなければという強い意志からです。コロナによる制限と、休会の中にデジタル化が進み様々な場での対応が大きく変貌しています。総会の承認のもとに、今年は区の郷土博物館オープンと、千住宿開宿400年の記念行事との連携をさぐりつつ、事業計画を進めます。

令和7年4月26日(土)

郷土博物館リニューアルオープン

<「足立区立郷土博物館だより 2025No.79」より一部転載します>

【第421号】
令和7年4月15日

令和7年4月26日(土)、2年以上にわたる休館を経て足立区立郷土博物館は、いよいよリニューアルオープンの日を迎えます。

休館中は空調などの設備改修工事に加え、平成21年以来、16年ぶりに常設展示の改修を行いました。新しい常設展示のコンセプトは「郷土資料館から『美術博物館』へ」です。当館では、10年以上にわたり、足立の美術・文化資料の重点調査を行ってきました。その過程で、足立には数多くの価値ある美術作品が遺されていることが明らかになりました。専門家から「足立は『美』と『知性』の宝庫」と評価され、歴史ある美術雑誌『國華』で「千住・足立の文化遺産」特集が組まれるなど、足立の美術文化に注目が集まり始めて

いるのです。これを受け、今回の改修では、新たに美術分野の常設展示スペースを設けることとしました。

これまで当館の常設展示では、歴史・民俗という2つの視点から足立を紹介してきましたが、ここに美術という視点を加えることにより、豊かな足立の文化をより広く、多角的に紹介できるようになります。

なお、美術分野のみでなく、歴史・民俗分野の展示も、さらに皆様にお楽しみいただけるようアップデートを行っています。

美術館仕様に生まれ変わった企画展示室では、「千住・足立の文化遺産展(前期) 香り立つ琳派の美」を開催します。(4月26日から6月29日まで、後期は来年2月14日から4月12日まで)。今回初披露となる村越向栄作の屏風をはじめ、千住・足立に根付いた琳派絵師たちの作品を中心に展示し、リニューアルオープンを華々しく彩ります。



<事務局より>

史談会だより”の紙面を横書きに一新しました。



TEL(郷土博物館) 03-3620-9393
FAX(郷土博物館) 03-5697-6562
毎週金曜日 10:00~12:00
事務局は毎週金曜日上記時間に在席しています。

会費納入について 再度のお願い

会費未納の方は、史談会の活動に賛同いただき、年会費を納めていただきますようお願い致します。

4月11日(金)に開催された総会において、令和7年度の新たな役員人事と事業計画、予算が承認されました。詳細は、2~3ページの総会資料をご覧ください。